
釣り方について考える (2017/9/5~2021/1/13の釣り日記からのまとめ)

リトリーブ・スピード

- 風でラインがふける。ラインのふけが一定になるように巻いた。当たりはラインの変化で取る。
 - ・ファクター 1.2g グラスオリーブ 3尾
 - カウントして少し沈めてからリトリーブした。自分には、軽いスプーンを投げると巻きスピードが遅くなる癖があるので、意識して、少し速めに、そして、泳ぐようにリトリーブした。連続ヒットとなった。(2021/1/13)
 - ・ファクター 0.6g かみつけペレット カウント6~8 3尾
 - モカ(SS)もプチモカ(SS)もステディリトリーブだった。‘止め’は入れなかった。巻きスピードは「テエロの遅い方」または、それより遅い「テエエロ」だった。いきなりガンと掛かってきた。(2018/3/26)
 - 今日はゆっくりリトリーブするより、いつもより速めのリトリーブの方が反応が良かった。(2018/4/1)
 - これまでモカSR(SS)をゆっくり引いてきたが、スピードが合わないのかと考え、速めに引いた。「速いテエロ」で引いた。これが良かった。(2018/5/3)
 - 表層で釣れなくなってきた。クランクをいろいろ試した。泳ぐ一番遅いスピードで巻いた。(2019/4/8)
 - ・プチモカSR(SS) ミドビィーノ 1~2尾
 - ・ちびパニクラDR-SS こぶ茶 数尾
 - ・ミワクラ MR Fセクシーピンク 1尾
 - 釣れなくなった時のための「しずく」である。だいたい色を選んで投げた。これまでの釣り方「ゆ〜くり、ゆ〜くりと巻く」のでは反応が今一だった。お尻を振る程度の速さで巻いてみたら、これで釣れるようになった。これまでの釣り方とは違う巻きスピードである。これまでより巻きスピードが速い。(2020/9/8)
-
- スプーンの場合、泳ぐスピードがある。マイクロスプーンだから超低速巻きというわけではない。
 - 泳ぐスピードが同じ場合、スプーンの重さの違いは泳層の違いと考える。重いものは深い所を泳ぐ。
 - プラグの場合、魚の活性によるものなのか、時としてバイトしてくる時の巻きスピードが異なる時がある。